

山梨県建築文化賞20周年記念誌の発刊にあたって

山梨県建築文化賞推進協議会
会長 山梨県知事 横内 正明



本県では、現在、富士山を始めとする美しく豊かな自然を背景に統一感のある街並みや広域的に調和の取れた良好な景観の形成に取り組む「美しい県土づくり」を推進しております。

こうした中で、この建築文化賞が魅力と風格のある文化的なまちづくりを奨励するとともに、景観等に対する県民意識の高揚を図ることを目的として平成2年に創設され、今年で20年目を迎えますことは誠に意義深いものがあります。

県の主催で始められたこの事業も、平成18年度からは、建築関係団体の御理解・御協力を頂く中で推進協議会を組織し、民間との共同事業として引き続き実施しているところであり、これまでに多くの優れた建築物等の中から延べ122点もの作品が受賞され本県の魅力的で快適なまちづくりに貢献しています。

こうした、地域の環境や景観に配慮し、地域の特性を生かした優れた建築物が多くなっていくことにより格調高いまちなみが形成され、本県の建築文化として息づいていくと同時に、各地域のまちづくりや景観により良い影響を与え、誇りと愛着のもてる魅力ある地域づくりが一層推進されるものと確信し、期待するものであります。

今後も、県民誰もが心の豊かさを実感出来る「暮らしやすさ日本一」を実現していくため、山梨の美しい県土づくりを推進してまいりますので、皆様にはなお一層の御支援、御協力をお願い致します。

結びに、審査委員をはじめ、関係団体の方々の御協力に感謝申し上げますとともに、皆様の今後益々の御健勝と御活躍をお祈りし、記念誌発刊の挨拶と致します。

平成22年3月